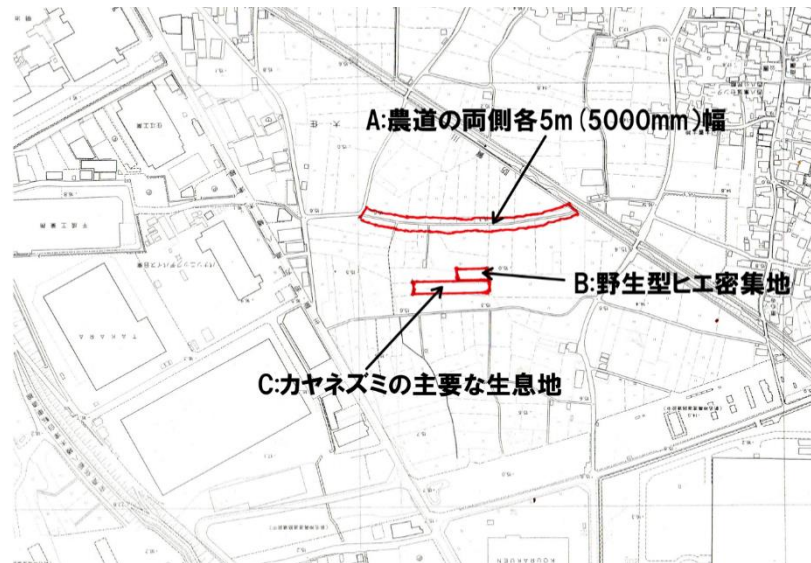


●大住土地区画整理組合による造成工事に関して

○8月27日造成地で希少種生育地確認

8月24日の約束通り、今週なら現場で立ち合いできるとのことでありました。里山の会では急にそこまでことが進められないので8月31日9月1日2日3日にお願いしたいとの連絡をいたしましたところ、8月27日に急遽大住土地区画整理組合から実施したいとの連絡がありましたので、木津川植生作業で加茂町に出ている生育調査中の皆さん方と、大村理事長や森島副理事長にも連絡し、光田先生にもご参加依頼をして、このチャンスを生かしてもらいました。

そして、希少植物を確認できる12月まで工事延期を求めました。また8月30日には光田先生に現地視察で調査個所の地図の提出を求められたので提出をしていただきました。



○すると組合から聞き遂げられないと返答

すなわちゼロ回答が届けられましたので、水曜日9月1日の事務局会議で、種々対応策を検討しました。そこで出された意見は、①運び込みを予定している土砂の採取地のアセスメントは実施されているのか、そしてそれは公開されたのか。②文化財発掘の調査が行われたが、その結果が市民に公開されているのか？③経過を一般新聞に問題点が明らかにされていないので世論に訴えるために働きかけよう。④その際に「SDGs」や「CSR」の立場から報道されるように働きかけよう。の意見がありました。

○造成工事の担当「大林組」に送付のために fax 番号をお聞きいただきましたが教えてくれず、仕方なく30日大林組に郵送で送付いたしました。

大林組大阪本店 土木企画部 ●● 様

先日は突然の電話を掛けさせていただきました京都府京田辺市田辺深田 15 に事務を設けている特定非営利活動法人の常務理事をしている山村武正でございます

その節には突然なことで大変失礼をいたしました。またその直後大住土地区画整理組合に連絡をとっていただいたようにお察しいたします。

私たちは「自然を大切にすることの輪を大きくする」のスローガンのもとに活動を25年間行ってきました。この度、大住土地区画整理組合が造成される土地を調査してみると、レッドデータ種

ックに記載されている植物を多数発見いたしましたので、組合様に添付の要望書を送付いたしましたところ、話し合いをするからとのことでそれぞれの立場から厳しい状況を出し合いました。その中で特に指摘したのは SDG s についてでありましたが、ご理解をいただけなかったもので、造成工事をされるのが日本大手企業の大林組さんとお聞きしたので事の次第をお伝えして、何らかのご協力が得られないの难道うかと考え、資料を送るために FAX 番号をお尋ねさせてもらいましたが教えていただけなかったもので、今般郵送をさせていただきました。

この間何かと不都合な対応をさせていただきましたが、素人集団で社会の常識を失する対応となっているかもしれませんが、なにとぞ大きなお心で受け止めてくださることを切にお願い申し上げます。

尚 8 月 10 日に京田辺市環境課に提出いたしました要望書を添付いたしました。その後、京田辺市環境課が大住土地地区画整理組合に届けていただきました、それで 8 月 24 日に話し合いに至りましたことを、お伝えしておきます。

●第 27 回環境講演会（9 月 4 日・土）中止と決定

昨年もコロナウイルスに関連して中止せざるを得なかったのですが、今般緊急事態宣言の最終日にあたり、会場と予定していた京田辺市中央公民館が閉館使用禁止となってしまいました。それでいぶん多くの会場を探しましたが、都合よく借りられる施設が見当たりませんでした。当日講師をお願いしていた澤井健二先生や奥西一夫先生にはご多忙の中、準備をおかけいただきましたが、致しかたなくお断りをして、中止と決定とさせていただきました。期待されてきた皆様と先生には随分とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

●第 5 回京都府子どもの水辺発表交流会カヌー体験教室も中止と決定

コロナの関係でも昨年は無理をして実施しましたが、今回は小学生など若年層に患者が発生してきていますので、現状での開催は昨年とは大きく状況が変化してきているように見えますので、実施しない方が良いでしょう、無理な開催を自重すべきではないかのご意見が多数を占めましたので、中止もやむなしとなりました。随分と早くからご期待をされているようにも聞きいたしていましたが、昨年とは事情が違うとご理解いただきご理解をお願いいたします。

●中聖牛のための竹蛇籠製作講習会

開催初日は 9 月 12 日（日）午前 9 時 30 分からです。2021 年の中聖牛設置は 9 月 8 日に設置場所などが決定されますが、竹蛇籠製作の準備は 9 月 1 日から開始します。

竹資材の選び出しの期間も必要です。160 本を選び出すことにしました。今日は播川理事を始めにして太田、森島理事、福井理事が選び出しに出かけていただきました。まだまだ残暑が、その上、藪蚊になやまされての苦しい作業です。本当にご苦労、ありがとうございます。

●竹蛇籠製作の機械搬入

9 月 2 日（木）の午後からは竹割機などの搬入と、据え付け、新運転を行っていただきます。また河川生態学術研究大会は 10 月 3 日正午過ぎから全国から研究者が木津川においでになり現地視察が行われ、4 日には京都駅前のメルクパーク京都で総合研究会が予定されています。